

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol. 2 5 3】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約 400 力所へ送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。
本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。
情報提供の送信方法を変更し、本メールでは【目次】のみを送信し、
【本文及び添付ファイル】は、下記の BYA-HP を参照いただく方式としました。

【目次】

国循特集

1. 国立循環器病研究センターの論文捏造の不祥事事件に対する抗議書 (全文添付)
2. 皆さんも国循の小川久雄理事長へ抗議書を送りましょう
3. コロナで顕著化 “ステイホーム” で苦しむ“ホーム” なき女性たち 松本俊彦さんに聞く(上) (添付)
4. 健保負担、従業員に二重苦 (日経新聞) (添付)
5. 情報提供

【記事】

1. 国立循環器病研究センターの論文捏造の不祥事事件に対する抗議書 (全文添付)
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210130/k10012841541000.html>
<https://www.yomiuri.co.jp/national/20210130-OYT1T50062/>
<https://www.asahi.com/articles/ASP1Z4G6RP1ZPLBJ001.html>
https://www.asahi.com/articles/ASN8L6J5VN8LPLBJ006.html?iref=pc_rellink_01
https://www.asahi.com/articles/ASN8L6J5VN8LPLBJ006.html?iref=pc_rellink_01
<https://this.kiji.is/728042436046667776?c=39546741839462401>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/249307c618875fce2d1720e20fa4d1bc0250dc5e>
<https://www.mixonline.jp/tabid55.html?artid=70574>

当会からの「ベンゾジアゼピン薬害を否定する国循」に対する抗議書の趣旨

『当会は、国立研究開発法人国立循環器病研究センター（以下「国循」という）の医療事故の隠蔽体質及び贈収賄体質について、令和3年1月24日、「国立循環器病研究センターの贈収賄体質の改善に関する抗議書」において、御省に抗議した。今回、再び、大阪大学に所属した国循の研究者による「新たに2論文でもねつ造・改ざん 臨床研究中止に」（NHK）（資料1）と報道されたことに対して、重ねて、抗議し、国循の悪しき体質の改善について、国循の解体を含めた検討をすべきであることを要求する。』

『(1) 国循は、①国循官製談合事件の刑事裁判の有罪確定、②医療事故の隠蔽、③医療過誤事故の確定判決の司法判断の無視、④日本医療機能評価機構による病院機能評価認証の失効、⑤国循OBによる三重大病院元教授の第三者供賄事件、そして、⑥今回の論文データの捏造事件など、その体質は、「患者や病院に損害を与えても、自らの手柄となる論文データをねつ造したい」というものであり、臨床試験の実験台となった患者は「人体実験」そのものである。当会は、度重なる国循の不祥事・不法行為に対して、厚生労働省が、国民の医療安全を守る立場から、厳しく、国循の解体を含めて、行政指導を徹底すべきであり、抗議書を郵送した。』

『(2) かかる不祥事を多発させる国循の責任者である小川久雄理事長が、その責任を部下に押し付けて、熊本大学の学長に栄転することに対し、当会は、強く反対し、抗議する。』

2021/02/04 17:26

2. 皆さんも国循の小川久雄理事長へ抗議書を送りましょう
送付先は以下。

〒564-8565 大阪府吹田市岸部新町6番1号
国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
理事長 小川 久雄

3. コロナで顕著化 “ステイホーム”で苦しむ“ホーム”なき女性たち 松本俊彦さんに聞く(上) (添付)

https://mainichi.jp/premier/health/articles/20210128/med/00m/100/006000c?cx_fm=mailhealth&cx_ml=article&cx_mdate=20210130

NCNPの松本俊彦は、かつて、「ベンゾジアゼピン服用患者は、自分の生きずらさをベンゾジアゼピンのせいにしている」と裁判所へ証言し、ここでは、女性が「コロナのステイホームで苦しむ」などとして、その原因を他に転嫁している。このような人物は、国立精神神経治療センターの薬物依存研究部長としてふさわしくない。当会は、ただちに、解任させる。**退任しない場合は、強制的に、解職させる。**

4. 健保負担、従業員に二重苦 (日経新聞) (添付)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQODB15B2Z0V11C20A2000000/>

5. 情報提供

Benzodiazepine Evidence Hearing Japan (ベンゾジアゼピン系処方薬物勉強会)

<https://www.youtube.com/watch?v=g6YhNbAjz7M&feature=youtu.be>

Press Conference (Japan House of Reps: BZ Evidence Hearing) 衆議院「ベンゾジアゼピン系処方薬物勉強会」記者会見

https://www.youtube.com/watch?v=yED_TsKOlg8&feature=youtu.be



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史